

Sinfonia

シンフォニア

J&C Japan Century
Symphony Orchestra

The Symphony Hall

[指揮] 飯森範親

Best of チャイコ名曲決定版!!

Tchaikovsky



[ヴァイオリン] 成田達輝



[チェロ] 横坂 源

Close Up

The Symphony Hall Big Band 祝20回

The Symphony Hall Super Brass 《プラスdeシネマ》

熱狂コンチェルト2023

ほか

2023年

6/2 金

19:00 開演
(18:00開場)

ザ・シンフォニーホール

チケット料金 全席指定 5,000円(税込)

チケット発売日 2023年 2月26日(日)

“がんばれ関西フィル”
コンサートⅣ

第2回 ヨーロッパ公演
成功を願って

マルティン・ ガルシア・ガルシア Martín García García ピアノ・リサイタル

Program

F.ショパン

4つのマズルカ op.33

舟歌 嬰へ長調 op.60

ワルツ 第1番 変ホ長調

「華麗なる大円舞曲」 op.18

ポロネーズ 第5番 嬰へ短調 op.44

ワルツ 第8番 変イ長調 op.64-3

ワルツ 第7番 嬰ハ短調 op.64-2

3つのワルツ op.34

R.シューマン

3つの幻想的小曲 op.111

交響的練習曲 op.13

チケット取扱い

ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333 (火曜定休)

イープラス <https://eplus.jp/symphonyhall> (パソコン・携帯)

チケットぴあ <https://w.pia.jp/t/symphonyhall/> [Pコード: 237-253]

ローソンチケット <https://l-tike.com/symphonyhall> [Lコード: 51512]

主催・お問合せ

公益財団法人 関西フィルハーモニー管弦楽団
06-6115-9911

協力

日本アーティスト、ファツィオリジャパン

特別協賛

ダイキン工業株式会社

※曲目、曲順など、内容が変更になる場合がございます。
あらかじめご了承ください。

*乳幼児、未就学児のご同伴、ご入場はご遠慮ください。

KnS
a
ar
orchestra

- 02 Best of Tchaikovsky チャイコ名曲決定版!!
- 04 The Symphony Hall BigBand vol.20 おかげさまで、㊥20回
- 05 The Symphony Hall BigBand vol.20「星に願いを」
- 06 The Symphony Hall Super Brass《プラスdeシネマ》
- 07 Osaka Shion Wind Orchestra 第148回定期演奏会
- 08 Romance〜ベネデット・ルーポ ピアノ・リサイタル
- 09 川井郁子ドラマティックコンサート with オーケストラ響〜ひびき〜
- 10 ライト・シンフォニックコンサート 〜大人の賢況〜
- 11 関西フィルハーモニー管弦楽団 第9回親子定期演奏会
第4弾「夏休み自由研究は、これで決まり!! 〜音楽と物語〜」
- 12 オールバッハ名曲選! 真夏のオルガンコンサート2023
- 13 新 超絶のオペラ座の怪人
- 14 ウィーン・プレミアム・コンサート
- 15 特級グランド・コンチェルト
- 16 ラフマニノフ生誕150周年記念 熱狂コンチェルト2023
- 17 堤 剛 80歳記念チェロ・リサイタル
広島交響楽団 第432回定期演奏会 大阪公演
- 18 ABCテレビ主催公演:イベント情報
- 22 関西4オケ 初夏の注目公演
- 24 山形交響楽団さくらんぼコンサート
0歳児からの「光と映像で楽しむオーケストラ」Vol.18
- 25 守山俊吾&シンフォニア・アルシスOSAKA
- 26 日本センチュリー交響楽団
- 28 堀江政生のシンフォニア・アワー vol.56
- 29 小味渕彦之「こみちゃんの温故知シン」vol.2
- 30 ホールトピックス
- 31 Concert Calendar 2023.3~2023.5

3月のSinfonia会員先行予約について

Sinfonia会員先行予約を開始する3月24日(金)~3月31日(金)の期間は「お電話」と「窓口」の営業時間を10:00~18:00とさせていただきます。※上記以外の営業時間は、お電話・窓口ともに11:00~16:00(火曜定休)とさせていただきます。

※Sinfonia会員先行予約期間中は、電話・WEBのみのご予約となります。

※Sinfonia会員先行期間中にご予約されたチケットは、すべて郵送でのお届けとなります。

●電話: ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333 (火曜定休)
新型コロナウイルス感染拡大の状況により、営業時間が変更となる場合がございます。
詳細はホームページをご確認ください。

●WEB: <https://www.symphonihall.jp/>

登録費
年会費
無料!

シンフォニア会員登録方法

シンフォニア会員にご登録いただきますと、先行予約のご利用、シンフォニアのお届け、メールマガジンの受け取り等お得な特典をご利用いただけます。ぜひご登録ください!

▼ WEBサイトからのご登録

ザ・シンフォニーホール ホームページ
<https://www.symphonihall.jp/> からご登録下さい。

▼ ハガキでのご登録

定型ハガキに下記の情報を記載いただき、63円切手を貼付の上、ポストに投函ください。
【定型ハガキ裏】1.お名前(フリガナ付き)、2.性別、3.郵便番号、4.住所、5.電話番号、
6.メールアドレス(メールマガジン受取りの場合)
【定型ハガキ表】531-8501 大阪市北区大淀南2丁目3-3
ザ・シンフォニーホール「シンフォニア」係

※手続き完了後、約2週間で会員番号のお知らせと、シンフォニア最新号をお送り致します。

※携帯端末のメールアドレスをご登録いただく場合、受信設定をしている方はメールが受信できない場合がございます。[㊥symphonihall.jp]をドメイン指定受信して下さい。指定方法はご利用の携帯電話会社にお問い合わせください。

【お客様の個人情報の取り扱いについて】株式会社ザ・シンフォニーホールでは、次に掲げた内容にしたがって、個人情報の保護に努めてまいります。○お客様からご提供いただいた個人情報は、個人情報に関する法令、規程に準拠して管理いたします。○お客様からいただいた個人情報は、以下の目的のために使用し、それ以外には一切使用いたしません。(1)シンフォニア会員様への情報誌「シンフォニア」および関連する印刷物の発送(2)ザ・シンフォニーホールで開催する催事のご案内する印刷物の発送(3)ホールなど施設の利用に関するご案内、ご連絡(4)ザ・シンフォニーホールの事業、サービスの開発、改善を目的とした調査、研究のためのアンケートの送付・分析・データ集積(5)チケット予約販売に伴う、ご本人確認およびご連絡(6)株式会社ザ・シンフォニーホールに関するご案内の発送○個人情報の提供はご自身の意思でご本人様が行うものとなります。○お客様の個人情報を、適正かつ迅速に処理するため、その作業を外部の企業に委託して行うことがあります。その場合、委託先において個人情報が安全に管理されるよう適切に監督します。

●表紙「Best of Tchaikovsky チャイコ名曲決定版!!」

The Symphony Hallへご来場のお客様へ

新型コロナウイルス感染症対策に 関してのお知らせ

The Symphony Hallでは3月13日以降、政府の発表に準じて、館内での感染対策について以下の様に変更致します。

- ①引き続き、館内でのマスク着用を推奨させていただきます。
(着用・非着用はお客さまご自身でご判断ください。)
- ②客席内で会話をされる場合や、大きな声での声援(ブラボー等)を送られる場合はマスクの着用をお願い致します。
- ③発熱等の体調不良がある場合は、ご来場をお控えください。
- ④ご入場口には、検温器、アルコール消毒液を設置しておりますので、引き続きご利用いただけます。

この変更により、マスク着用の有無に関わらず、全てのお客様にご鑑賞いただけます。引き続き、館内での感染拡大防止にご協力頂きますようお願い致します。尚、この変更に伴う、お座席の変更や払い戻しは承りませんので、あらかじめご了承下さいますようお願い致します。

クラシック音楽の魅力、ホールの舞台裏の様子など
ザ・シンフォニーホールの情報をいち早くチェック!



アンコール曲の掲示

お客様の密集を防ぐため、アンコール曲は会場内に掲示せず、ザ・シンフォニーホールのTwitterでお知らせ致します。ぜひチェックしてください。





ヴァイオリン 成田 達輝



チェロ 横坂 源

Japan Century Symphony Orchestra × The Symphony Hall

Best of チャイコ名曲決定版!! Tchaikovsky

2020～21年、ザ・シンフォニーホールで

「ベスト オブ ベートーヴェン」と題したシリーズに登場し、

芳醇なドイツ音楽を堪能させてくれた

飯森範親率いる日本センチュリー交響楽団。

あれから2年余、

マエストロが次に準備した音楽の旅路はロシア。

ドラマチックなオーケストラサウンドを体感できる

「Best of Tchaikovsky チャイコ名曲決定版!!」が

5月13日に開催される。

Interview

飯森範親
Norichika Iimori

© 山岸 伸

世界の音楽界を駆け抜けて60歳
「心揺さぶる熱い演奏を届けたい」

軽快なフットワークで日本各地のオーケストラを指揮する飯森範親。現代音楽にも精通し、意欲的に新作の初演に挑み続ける。そんなアグレッシブな姿勢を見ていると少し意外な気もするが、飯森はこのコンサート後の4日後に還暦を迎える。

「僕も信じられないですよ。でも、40代でがむしゃらに指揮をしていた頃に比べ、本番での脱力がうまくできるようなってききました。小澤征爾先生も60代になってやっとながら抜けるようになったと仰っていました。僕もそれがわかるようになってきました」

オーケストラからの信頼も厚く、長年複数の楽団のポストを担っている。関西では日本センチュリー交響楽団首席指揮者、いずみシンフォニーエッタ大阪常任指揮者としておなじみだが、他にも

パシフィックフィルハーモニア東京音楽監督、山形交響楽団桂冠指揮者、東京佼成ウインドオーケストラ首席客演指揮者、中部フィルハーモニー交響楽団首席客演指揮者…。さらに今年4月から群馬交響楽団常任指揮者も。体力気力ともに超人級だ。

「確かに関わっている楽団の数は多いですけど、キャラクターが違うのでそれぞれに合った特徴がどうやったら出るのかをいつも考えています。大変でも、色々と頼まれるうちが華ですからね(笑)」

「プロオケの指揮デビューは22歳
ザ・シンフォニーホールでした」

桐朋学園大学指揮科で学び、22歳で初めてプロのオーケストラを指揮した。その思い出の舞台がザ・シンフォニーホール。「当時クラシック専用ホールとして話題になっていて、わくわくしながら大

阪フィルハーモニー交響楽団の練習場に行きました。リハーサルはブレッツシャーでしたが、大フィルの皆さんが協力的で本番もうまくいきました」と懐かしむ。

1994年、東京交響楽団の専属指揮者となった。プロオーケストラでの初めてのポスト。

「個性的な楽団員の皆さんに音楽家としてどう接すればよいのか、苦労しながらも多くのことを学ばせていただきました。あの経験が僕の原点です」。2004年、山形交響楽団常任指揮者を任されるが、東京の音楽関係者から「冗談っぽく「都落ち」と言われて、発奮した。

「内心はかなり力チンときたけれど、絶対に成果を出すぞと自分に発破をかけました。あの言葉が原動力になったのも確かです」。その後の飯森&山響の飛躍は、多くの音楽ファンの知るところとなった。

「ハイドンマラソンで鍛えられ
センチュリー響は劇的に変わった」

大阪の多くの文化団体が補助金カットで危機的状況に陥っていた2014年、日本センチュリー交響楽団首席指揮者に着任した。就任前のインタビューでは、「大阪の各楽団が敵対せず、それぞれの特色を出しつつ、共同体をつくる気持で発展させていきたい。大阪の音楽界を変える。そのために僕はやるんです」と意気込みを語っていた。次々

とアイデアを打ち出し、楽団員とスタッフを巻き込んでいく。就任翌年からスタートさせた飯森発案の企画の一つ、ハイドンの交響曲全104作品を演奏する壮大なシリーズ「ハイドンマラソン」もようやくゴールが見えてきた。

「センチュリーの第一印象は、すごく精度の高いオーケストラなのに、なぜ感動できないんだろう：でした。きれいなだけじゃお客様には伝わらない。一人ひとりのコンサートにかける熱量は一朝一夕には構築されない。熱感の伝わる演奏を目指す！そのためにはハイドンだと考えました。しつこくやることで精神力、体力も鍛えられ、ロマン派も近現代の作品も熱い演奏ができる。この10年近くでセンチュリーは極端に変わった。僕は自信を持って言えます」

深い信頼関係を培ったコンビが、今回挑むのがオールチャイコフスキープログラム。「交響曲第4番は疾風怒濤のごとく勢いがある曲。コロナで沈みがちな気持ちも吹き飛ばしてくれると思います。どうぞ熱い演奏に期待してください」と力を込める。

60歳といえば、会社員であればゴールに到達する節目の年齢でもある。この先、目指すものは何だろうか。

「音楽家としての目標は、プロムシテットさんと朝比奈隆さ

んのような指揮者になりたいということ。」「飯森のハイドンはいよいよ『飯森のブルックナーを聴きたいよ』ね』『飯森がベートーヴェンを振るなら聴きに行きたい』などとお客様に言っていただけ。その先には今できることをきっちり積み重ねていくだけ。その先に新しい世界があるのだと思っています」

聴衆の心揺さぶる、熱い音楽を届けたい。いつまでも変わらぬ情熱を持ち続ける60歳・飯森の現在地を見届けたい。

(取材・文 出水奈美)

【指揮】飯森範親 【ヴァイオリン】成田達輝 【チェロ】横坂 源
【管弦楽】日本センチュリー交響楽団

《オール・チャイコフスキー・プログラム》
ロココの主題による変奏曲 イ長調 op.33 ヴァイオリン協奏曲 二長調 op.35
交響曲 第4番 ヘ短調 op.36

2023.5/13(土) 2:00PM

S 7,700円 A 6,600円 B 5,500円(税込)

【お問い合わせ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

【主催】日本センチュリー交響楽団/ザ・シンフォニーホール

発売中



祝20回！《古澤巖さんと共に》
2016年1月クラシック音楽専用で作られたザ・シンフォニーホールに、器楽の可能性と生音を重視して、初めてクラシック音楽ではない、ジャズ・ビッグバンド「The Symphony Hall Big Band」(以下TSHBB)を始動しました。
ミュージックディレクターにはそれまで15年以上共に音楽を作ってきた、私が全幅の信頼を寄せる菊池寿人さん。学年は違えど同じ昭和42年生まれのおっさん同士。
2013年だったか？彼は、私が指揮をする舞台の本番のリハーサル中、スタッフの不用意な行動に腹を立て、怒って出て行った。以来、数年ぶりに電話を掛けると、はじめは「何かご用でも！」とバツの悪そうな返答だったが、過ぎた事より、昔

の様に一緒に音楽をやりたいという私の「お願い」を素直に受け入れてくれた。そのお願いは、「中身は任す。但し、誰にも真似のできない、そして来場者の喜びと感動を最優先にするバンドにしてほしい。」
以来、毎回、毎回、感動が伝播する事を肌で感じるコンサートが続けて来た。(全部では無かったかも？)私達、音楽家はともするとマニアックになりがちなもの。そんな時は一緒に飲んで、お互いに頭の中を掻き回す。そんな事を繰り返して、コロナ禍を経て、「もう我慢できない!!」「緊急招集」と題してコンサートを開いた。「舞台上で感謝が薄れていた演奏家にとって、コロナは初心を取り戻す素晴らしい機会になったのかも知れない。」
TSHBBはスピーカー(PA)の使用を最小限に抑え、ホールの「残響2秒」という特性を生かし、生音と若干のPAで、音質に拘り続け、楽曲も、毎回新しいアレンジでオリジナルティを大切にしている。

[演奏]The Symphony Hall Big Band
[ゲスト]古澤 巖 (ヴァイオリン)

How High the Moon/Stardust/When You Wish upon a Star /
SWINGIN' ON A STAR/Stella By Starlight/星めぐりの歌 /
見上げてごらん夜の星を ほか

2023.7/7(金) 7:00PM

全席指定 7,500円 (税込)

[お問い合わせ]大阪アートエージェンシー 06-6372-4583

[主催]ザ・シンフォニーホール

シンフォニア会員先行: 3/25 (土) 一般発売: 3/26 (日)

文喜多弘悦
ザ・シンフォニーホールGM
音楽総監督

繰り広げて下さっている。今回は、古澤さんとのスタンダードナンバー「How High the Moon」、「Stardust」をはじめ、「星に願いを」、「星影のステラ」等、星をテーマにした名曲の数々と、同じ曲でも毎回新しいサウンドをお届けします。
ここまで続いたTSHBBこれまで応援して下さいた皆さんに心からの感謝を申し上げますと共に、昭和生まれのおっさん達、紅一点のピアノ、宮川女史共々、引き続きのご愛顧、応援をよろしくお願い致します。

The Symphony Hall Big Band vol.20

おかげさまで、 祝20回



The Symphony Hall



Shion Osaka Shion Wind Orchestra

第148回定期演奏会

2023-2024年シーズンオオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ定期演奏会がいよいよ開幕を迎えます。

100周年メモリアルイヤーの定期演奏会は吹奏楽のもつ魅力を存分に感じていただくラインナップを揃えました。

今回は2020年1月の第128回定期演奏会以来の登壇となる、現田茂夫がタクトをとります。プログラムは新旧オリジナルの名曲を揃えました。前半1曲目は大栗裕の「大阪俗謡による幻想曲」。1974年の初演以降、1983年創立60周年記念定期演奏会、1995年WASBE世界吹奏楽大会、1997年東京公演、2018年大栗裕生誕100周年特別演奏会と節目節目で演奏してきた楽曲は、この100周年のスタートにふさわしい曲目とも言えるでしょう。

以降人気の作品となりましたが、意外にもShionでは初の演奏となります。

後半は近年アメリカで人気の作曲家ジェイムス・デイヴィッドの「交響曲 第1番「悪魔の聖書」(ギガス写本)」を取り上げます。「悪魔の聖書」と呼ばれるギガス写本は13世紀初めにボヘミア(チェコ)で書かれたと言われる写本で、修道僧が悪魔の手を借りて作り上げ、聖書に悪魔の絵が書かれる、禁忌とも言える作成は多くの謎を残しています。デイヴィッドはこの悪魔の聖書に興味を持ち、4楽章なる



指揮 現田茂夫

©K.Miura

吹奏楽の魅力を存分に味わっていただく4月のShion!!

[指揮] 現田茂夫
[吹奏楽] Osaka Shion Wind Orchestra

大栗裕：大阪俗謡による幻想曲
N.ヘス：イースト・コーストの風景
J.デイヴィッド：交響曲 第1番「悪魔の聖書」(ギガス写本)

2023.4/23(日) 2:00PM
S 5,000円 A 4,000円 B 3,000円(税込)

[お問い合わせ] Shionチケットセンター 0800-919-5508
[主催] 公益社団法人 大阪市音楽団

発売中

交響曲を最初の交響曲として書き上げました。悪魔の聖書にまつわる物語を中心に、その中で交わる同じチェコに伝わる古い聖歌「汝ら、神とその法の戦士たち」の旋律もこの交響曲をより印象的なものへと導きます。

前回共演した際の、チェザリーニ「交響曲 第1番」も好評だった、現田×Shionのコンビでの演奏は、今回の交響曲の演奏も期待が高まります。100周年のShion最初の演奏を、40周年を迎えるザ・シンフォニーホールで体感ください。



ザ・シンフォニーホール
スーパープラスがメディアに
取り上げられました！
動画はコチラ▶



ド派手に格好よく！ プラスdeシネマ

指揮 喜多弘悦

The Symphony Hall
Super Brass
ザ・シンフォニーホール スーパープラス
Shion × The Symphony Hall

「ザ・シンフォニーホール スーパープラス」は「オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ」と「ザ・シンフォニーホール」の共同企画で2022年7月に誕生したばかりのスーパープラスで、関西で活躍する精鋭メンバーが結集しました。「めっちゃ楽しい！」をモットーに、話題のプロジェクトシン・マッピングと迫力のブラスサウンドで五感を刺激するエンターテインメント・ショーとしてザ・シンフォニーホールのこれまでにない新時代のコンサートスタイルを築いています。クラシックだけでなく、ポップス、アニメ、ミュージカル、映画等、あらゆるジャンルの音楽を取り上げ、どの世代にも愛される唯一無二のスーパーブラス・サウンドを目指しています。また、感受性溢れる4歳以上の小人から入場できるのも魅力の一つで、まさに二世帯、三世帯で楽しめるコンサートといえるでしょう。

「めっちゃ楽しい！」ひと時をお届けします。さあ、想い出のあの頃にタイムトリップしましょう！

また「ザ・シンフォニーホール スーパープラス」は主催公演だけでなく、1月20日「第4回東洋テックグループオリジナルコンサート」や、5月14日(日)15時千里ロタリークラブ創立50周年記念「くすペシャル・コンサート」(関係者のみ)などの企業団体主催の公演にも招かれ、益々その人気が高まりつつある今最も注目のスーパープラスといえるでしょう。

プラスdeシネマ ～ド派手に格好よく！

[指揮・お話] 喜多弘悦
[演奏] The Symphony Hall Super Brass

2023.5/20(土) 3:00PM
全席指定 大人 6,600円 小人(4～18歳) 3,300円(税込)
※4歳のお子様からご入場いただけます
※プロジェクションマッピング付き

[お問い合わせ] 大阪アーティスト協会 050-5510-9645

そして、ついに！
5月3日「クールジャパンパーク大阪WW」に初出陣！

ゴールデンウィークは、ファミリーで
《プラスdeアニメ》で決まり！

2023.5/3(水・祝) [午前の部] 11:00AM [午後の部] 3:00PM
全席指定 6,000円(税込) ※大人・子供均一料金 ※4歳のお子様からご入場いただけます
団体料金 5,000円(税込) ※4名様以上は団体割引適用

[会場] クールジャパンパーク大阪WWホール
[お問い合わせ] クールジャパンパーク大阪 06-6943-8955
<https://cjpo.jp> (クールジャパンパーク大阪ホームページをご参照下さい)

コナン、ドラゴンボール、エヴァンゲリオン、鬼滅の刃などのアニメの名曲の数々を壮大なブラスサウンドでお届けします。

SCHUMANN

シューマン × ブラームス

ピアノ・リサイタル

Romance
ロマンス

BRAHMS



ピアノ ベネデット・ルーボ

イタリア人ピアニスト、ルーボが奏でるドイツ・ロマン派の世界

イタリアのピアニスト、ベネデット・ルーボがザ・シンフォニーホールでリサイタルを行なう。ルーボは、1963年イタリア南部のバリー生まれ。アルド・チッコリーニに師事し、ニキータ・マガロフやホルヘ・ボレットといった巨匠たちの教えを受けた。13歳でベートーヴェン《ピアノ協奏曲 第1番》を弾いてデビュー。1989年にはヴァン・クライバーン国際コンクールで上位入賞を果たしている。ルーボの学んだ地元のバリー音楽院の校長はニノ・ロータであり、彼はロータからも強い影響を受けたという。2005年にはロータのピアノ協奏曲のCDでディアパゾン・ドールなどを受賞している。

ルーボは、ピアノの教育者としても広く知られており、気鋭ベアトリチェ・ラナもイタリア時代に彼のもとで研鑽を積んだ。現在は、

サンタ・チェチーリア国立音楽院で後進の指導にもたずさわる。

今回のザ・シンフォニーホールでのリサイタルでは、ブラームスとシューマンという、ドイツ・ロマン派のプログラムに挑む。ブラームスの《6つの小品》作品118 & 《4つの小品》作品119は、クララ・シューマンとのつながりがある。ブラームスから作品119を送られたクララは、「灰色の真珠のよう」と語った。シューマンの《3つのロマンス》作品28は、結婚実現のためにクララの父を相手取った訴訟を起こした時期の創作。勝訴を確信したクララが「結婚のお祝いにください」と、シューマンに書き送った作品だ。そして《ピアノ・ソナタ第2番》については、そのフィナーレをシューマンはクララの指摘を受けて新たに作曲し直している。ルーボは、シューマンのピアノとオーケストラのための作品をすべて収録したCDもリリースするなど、シューマンの演奏を得意としている。

歌うような表現は、ルーボの演奏における魅力のひとつだ。彼が特に心を寄せるこの二人の作曲家は、作品のなかに深く自身の感情を織り込んでいる。彼

らほど演奏者の共感を求める作曲家はいない。ブラームスの後期の作品では、厭世的な表現の演奏が多い。そのような中で、彼はむしろ歌曲のような生命感にあふれた音楽を作り出す。また、ルーボのシューマン演奏は、エネルギーと生気に満ちている。しかし、爆発的な感情を吐露するのではなく、詩的で温かみのあるシューマンの世界を描き出す。ルーボにおいてドイツ・ロマン派の音楽は、彼の内面の感性と見事に共鳴している。

(文 道下京子)

[ピアノ]ベネデット・ルーボ

ブラームス(生誕190周年):6つの小品 op.118、4つの小品 op.119
シューマン:3つのロマンス op.28、ピアノ・ソナタ 第2番 ト短調 op.22

2023.7/21(金) 7:00PM

全席指定 5,000円(税込)

[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催] ザ・シンフォニーホール/イタリア文化会館・大阪

先行予約: 3/25(土) 一般発売: 3/26(日)

川井郁子

With
ドラマティックコンサート
オーケストラ響〜ひびき〜

Program (予定)

夕顔〜源氏物語より〜

展覧会の絵〜日本の情景〜

リベルタンゴ

さくら

ジュピター

新日本紀行

NHK大河ドラマより『麒麟がくる』 ほか

[ヴァイオリン] 川井 郁子
Ikuko Kawai, violin

[管弦楽] オーケストラ響^{ひびき}
(和楽器奏者と管弦楽団による)
Orchestra HIBIKI

IKUKO KAWAI

DRAMATIC CONCERT

2023 **3/21** (火・祝) 15:00開演 [14:00開場] **ザ・シンフォニーホール**

S席 6,500円 A席 5,000円 (全席指定・税込) 主催:ザ・シンフォニーホール

ご予約・お問合せ ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333 (火曜定休) <https://www.symphonihall.jp>

■e+ (イープラス) <https://eplus.jp/symphonihall> (パソコン・携帯)
■ローソンチケット <https://l-tike.com/symphonihall> [Lコード: 55363]
■チケットぴあ <https://w.pia.jp/t/symphonihall/> [Pコード: 229-347]

※未就学児のご入場は御遠慮いただいております。※やむを得ない事情により、出演者、曲目、曲順等が変更になる場合がございます。※公演中止・延期の場合を除いて、チケット代金の払い戻しは承りません。予めご了承ください。





夏休みの自由研究は今年もこちらの公演で決まり!

夏休みの宿題で親子を毎年最も悩ませる自由研究。それをたった1日で解決してくれる恒例の人気企画、関西フィル親子定期演奏会が今年も行われる。

この企画はもともと、就学前の4歳児が家族と一緒にクラシック音楽を楽しむための公演として誕生。その後、2019年から、夏休みの自由研究に向けたクラシックの名曲を楽しみながら学べる演奏会へと発展し、現在に至っている。

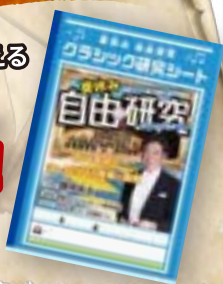
そんな当公演を指揮するのは、今年も藤岡幸夫。00年から関西フィルの正指揮者に就任し、両者の強固な関係は四半世紀近くにも及ぶ。彼はまたクラシック音楽の普及にも熱心で、テレビやラジオ

来場者全員に

自由研究にそのまま使える

"研究シート"を
プレゼント!

※画像は
昨年の研究シートになります。



などメディアへの出演経験も豊富。14年からは、関西フィルと共にBSテレ東「エンター・ザ・ミュージック」に司会&指揮者として出演中だ。多彩な一流ゲストと音楽の魅力をクロスオーバーに伝える斬新な音楽番組として好評を博しており、今回もその手腕が遺憾なく発揮されることだろう。

そんな今回の公演テーマは、「音楽と物語」。クラシック音楽は戯曲や小説などの物語が題材になっていることが多く、その名曲を選りすぐって紹介することで、音楽と文学の深い関係性に様々な角度からスポットライトをあててゆく。

例えば、ドイツで生まれ、フランスで活躍する中で音楽と喜劇を融合したオッフェンバックからは、その代表作で、運動会のBGMとしてもおなじみの「天国と地獄」。

ロシアの人気作曲家チャイコフスキーの3大バレエのひとつで、様々な伝説や文学作品を混ぜ合わせて生まれたと言われる「白鳥の湖」。

フィンランドの国民的作曲家で、藤岡の十八番でもあるシベリウスからは、祖国の歴史を壮大に描いた民族叙事詩「カレワラ」のラストを飾る「フィンランドは目覚める」を後に交響詩として独立させた「フィンランド」。

オーストリアの圧政下で苦しむスイス人にとって伝説の英雄的存

在だった「ウィリアム・テル」を4幕仕立てのオペラに織り上げたイタリアのロッシニ。

ドイツのメンデルスゾーンからは、シェイクスピアの喜劇を題材にした劇付随音楽「真夏の夜の夢」を彩る名曲の数々など、本格的な作品がずらりと並んでおり、聴きごたえも十分だ。

そして今回も、コンサートで学んだことをそのまま自由研究として提出できる「研究シート」を来場者全員にプレゼント。これを有効活用すれば、自由研究はますます楽々と洗練された形で仕上がるに違いない!

(文 渡辺謙太郎)

[指揮]藤岡幸夫 [司会・語り]空井仁美
[管弦楽]関西フィルハーモニー管弦楽団

オッフェンバック:喜歌劇「天国と地獄」序曲より「カンカン」/モーツァルト:ディヴェルティメント K.136より 第1楽章/チャイコフスキー:バレエ音楽「白鳥の湖」組曲より「四羽の白鳥の踊り」/カバレフスキー:組曲「道化師」より「ギャロップ」/シベリウス:交響詩「フィンランド」/ロッシニ:二歌劇「ウィリアム・テル」序曲/メンデルスゾーン:劇付随音楽「真夏の夜の夢」より ~序曲・スケルツォ・間奏曲・夜想曲・結婚行進曲~

2023.8/6(日) 2:00PM 全席指定 4,000円(税込)

[お問い合わせ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催]ザ・シンフォニーホール/公益財団法人 関西フィルハーモニー管弦楽団

先行予約: 3/25(土) 一般発売: 3/26(日)



この夏の暑気払いは、「真夏のオルガンコンサート」で!

今年も暑さが厳しそうな大阪の夏。みなさんはどんな風に過ごし、どこに出かけますか。大阪天満宮の天神まつり、大規模なだんじりが有名な杭全神社の夏祭など、大阪の夏は見所が多いが、今や真夏の大阪の風物詩といえるコンサートも忘れてはならない。8月27日開催のザ・シンフォニーホールの「真夏のオルガンコンサート」だ。同ホールのオルガンは、スイスのクーン社製の楽器で、3732本ものパイプを備え、変幻自在な響きを表現できる日本でも屈指の名器として名高い。この壮麗な音色を堪能できるコンサートとして、これまでの多くのファンを獲得し、大阪の夏のイベントとして愛されてきた。

今回出演するのは、今もとても



オルガン 富田一樹

活躍中の日本を代表する名手の富田一樹。日本人として初めてライプチヒのバッハ国際コンクールの覇者に輝いて以来、その知的かつスケールの大きい演奏は各地の聴衆を魅了してきた。「多くの人にパイプオルガンの魅力を伝えたい!」という信条をもつ富田は、大阪出身で、大阪音楽大学を首席卒業後、同大学院を経て、ドイツのリューベック音楽大学に留学し、研鑽を積んだ。大阪ゆかりの、そして今や大阪の顔ともいえる演奏家のひとりだろう。ザ・シンフォニーホールにもたびたび登場しており、昨年12月には「クリスマスオルガンコンサート」に出演し、バッハ、バッヘルベル、フォーレ、サンサーンスなどのプログラムで、満場の聴衆から喝采を浴びたのは、記憶に新しい。

今回は富田のライフワークともいえるオール・J.S. バッハ・プログラムが組まれた。バッハの作品の奥深さや美学を日々探求している富田ならではの、細部までの錬磨された品格のある演奏が期待されよう。曲目は多彩な名作をそろえた魅力的なものだ。バッハの技巧的な面の輝かしさも味わえる幻想曲とフーガハ短調 BWV537や前奏曲とフーガハ短調 BWV548「楔」のある美しいメロディーに彩られた作品もラインナップされた。グノー

編曲「アヴェ・マリア」や「主よ、人の望みの喜びよ BWV147-110」などだ。これから初めてオルガンを聞いてみようという人も、オルガンを何度も聞いているファンも楽しめる企画になっている。富田が多彩な音色を駆使して、各曲の性格に合わせた表現力を発揮するのも楽しみだが、ぜひ足鍵盤の響きにも注目! 荘厳な低音を担当するほか、ときに見事な足さばりが使われるのもオルガンならではの。同じ鍵盤楽器でもピアノやチェンバロにはない見所、聞き所でもある。オルガンの豪華な響きを楽しんで、大阪の酷暑を乗り切りたい。

(文 伊藤制子)

[オルガン] 富田一樹

《オール・バッハ・プログラム》

J.S. バッハ: 幻想曲とフーガ ハ短調 BWV537 / われいずこに逃れゆくべきか BWV694 / おお汚れなき神の子羊 BWV656 / ピエスドルゲ ト長調 BWV572 / アヴェ・マリア / C. グノー (オルガン版) / 主よ、人の望みの喜びよ BWV147-10 (オルガン版) / 前奏曲とフーガ ハ短調 BWV548 「楔」

2023.8/27(日) 2:00PM

全席指定 3,000円(税込) ※休憩なし。約60分のコンサートです。

[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催] ザ・シンフォニーホール

先行予約: 3/25(土) 一般発売: 3/26(日)



今年も凄すぎる「オペラ座の怪人」が帰ってくる!!

光と音の融合が生み出す壮大な宇宙空間。ザ・シンフォニーホールのシンボル、スイス・クーン社製のパイプオルガンとプロジェクションマッピングを駆使して贈る大人気シリーズ「超絶の」が再び帰ってくる!

公演テーマは、ファン待望の「超絶のオペラ座の怪人」。19世紀末のパリ・オペラ座を舞台に、その地下深くに潜む怪人ファントムと歌姫クリステイヌの悲哀を描いたミュージカルで、1986年にロンドンのハー・マジエス・ティーズ劇場で初演。日本でも88年から劇団四季で上演が始まり、30年以上に渡って断続的に長期公演が行われていることは周知の通りだ。

劇的で魅力的な音楽の数々、豪華な衣装や舞台装置などで知られる原作を、パイプオルガンとプロジェクションマッピングによって新

たな芸術として織り上げたのが、この新「超絶のオペラ座の怪人」。初回から大好評を博し、再演を熱望され続けてきたが、2020年にその声に応える形で演奏者と全曲のアレンジを一新。そんなパワーアップした舞台を、さらに磨き進化した形でお届けするのが今回の公演だ。

演奏は、ザ・シンフォニーホールに近年たびたび登場していることでもおなじみの大木麻理。東京藝大を経て、オルガンの本場ドイツで研鑽を積んだ彼女は、マインツ国際オルガンコンクール第2位や、第3回ブクステフェーデ国際コンクールで日本人初優勝を飾るなど賞歴も多数。近年は演奏だけでなく、NHK「リサイタル・ノヴァ」などへのメディア出演や教育活動も積極的に行っており、パイプオルガンの普及に勤しんでおり、このシリーズへの出演もその一環として大成功を収めている。しかも彼女は、子供の頃からミュージカルが大好きで、学生時代からミュージカル公演に通うためにアルバイトをしたり、ミュージカル研究サークルのピアニストをしたりしていたというから、今回の公演に寄せる想い

も大変強いに違いない。今回はまた、「オペラ座の怪人」だけでなく、同じくミュージカルの金字塔「レ・ミゼラブル」や「キャッツ」、さらに名曲の宝庫である映画から「天使にラブソングを」「サウンド・オブ・ミュージック」「オズの魔法使い」「美女と野獣」などのナンバード・オブ・ミュージック。大木の妙技によって、天から降り注ぐような温かい音色、荘厳で豊かな歌、冷徹で研ぎ澄まされたリズムといったオルガンの多彩な性能が存分に示される中で、プロジェクションマッピングの光はその魅力を何倍にも増幅してくれることだろう。

(文 渡辺謙太郎)

オルガン 大木麻理



[オルガン]大木麻理

ミュージカル『オペラ座の怪人』★/ミュージカル『レ・ミゼラブル』★/映画『オズの魔法使い』より『over the rainbow』/映画『LA LA LAND』★/映画『サウンド・オブ・ミュージック』/ミュージカル『キャッツ』★/映画『天使にラブソングを』/映画『美女と野獣』★ ★プロジェクションマッピング付き

2023.7/28(金) 7:00PM

全席指定 3,000円(税込) ※休憩なし。約60分のコンサートです。

【お問い合わせ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

【主催】ザ・シンフォニーホール

先行予約: 3/25(土) 一般発売: 3/26(日)



特級 グランド・コンチェルト

feat. 桑原志織
Interview

シューマンの魂を自由に羽ばたかせることを目指して

桑原志織は、東京藝大附属高校在学中ピティナ・ピアノコンペティション特級銀賞を受賞。そして2021年ルービンシュタインコンクールで2位となり、世界への扉を開いた。

新時代を担う3人の若者が集いピアノ協奏曲を弾く「特級グランド・コンチェルト」では、憧れ続けたシューマンのピアノ協奏曲を披露する。「高校時代から憧れていたのですが、シューマンの名手として知られる師匠の伊藤恵先生から『あなたにはまだ早いかな』と言われている。他の曲で止められることはないで、何か理由があったのだと思います」

藝大卒業後はドイツに留学。ベurlin・フィルはじめ最高峰の楽団の公演に通う中、シューマンのオーケストラ曲の魅力を再認識した。また参加したブゾーニコンクールで、オISTRAフ・カルテットとシューマンのピアノ五重奏曲を演奏。「すばらしいカルテットの確固たる音楽の中で自由に弾く経験をしたことで、初めてシューマンをわかりかたように思いました。その演奏を聴かれた伊藤先生が、そろそろあなたのシューマンの協奏曲を聴きたい」と言ってくださったのです。今回のお話を

ただいた時は、ようやく弾ける！と嬉しかったです」

それほど魅かれたと同時に難しいと感じるのは、作品のどんな点だろうか？

「他の作曲家と全く違う感覚を求められるところです。例えばベートーヴェンやラフマニノフだと、作品の絶対的な世界が建てられていてそこに入っていく感じ。一方シューマンだと、自分が天空の城になり、その中でシューマンの魂や音楽の機微が自由に羽ばたけるようにしてあげる必要があります。演奏者は楽譜に書かれたものを再現しますが、そこに自由な精神が宿らなくてはいいですね」

理想が見えたからこそ「少し近づいたと思うようになった」と話す。「この曲の特徴は、1楽章と2、3楽章の作曲時期が数年あいているところ。時が経てば本人も周りの環境も変わるはずで、実際シューマンも、結婚して幸せな時から精神状態が悪化する過渡期にいました。でもこの曲にはそこに左右されない、人生の核心や心の奥で大切にしていたことが素直に表現されていると感じるのです」

ついに挑むにあたり、伝記を読み返して作曲家の心を探っている。「こういうとシューマンに怒ら



©Yoel Levy
ルービンシュタイン国際ピアノコンクール(2021年)ファイナルより

(取材・文 高坂はる香)

[ピアノ] 谷 昂登、桑原志織、阪田知樹
[指揮] 藤岡幸夫 [管弦楽] 関西フィルハーモニー管弦楽団

グリーク：ピアノ協奏曲 イ短調 op.16 (谷 昂登)
シューマン：ピアノ協奏曲 イ短調 op.54 (桑原志織)
ラフマニノフ：ピアノ協奏曲 第1番 嬰ヘ短調 op.1 (阪田知樹)

2023.5/3 (水・祝) 2:00PM

S 6,000円 A 5,000円 B 4,000円 学生 3,500円(税込)

[お問い合わせ] 一般社団法人全日本ピアノ指導者協会 03-3944-1583

[主催] 一般社団法人全日本ピアノ指導者協会 / ザ・シンフォニーホール

発売中



管弦楽 トヨタ・マスター・プレイヤーズ、ウィーン

新年度のスタートは、ウィーン発の極上のコンサートに酔いしれよう！

ウィーン発の極上のコンサートがザ・シンフォニーホールにやってくる！トヨタ・マスター・プレイヤーズ、ウィーンは、ウィーン・フィルとウィーン国立歌劇場のメンバーを中心とした30名から成る特別編成の室内オーケストラだ。2000年以来数々の名演を聞かせてくれたが、今回は4年ぶりの開催となる。ウィーン・フィルのコンサートマスターで本楽団の芸術監督でもあるフォルクハルト・シュトイデがトッパアーティストたちによる演奏を絶妙なリードでまとめる手腕に期待が高まる。

共演者も豪華なメンバー。まず昨今円熟味を増してきた小菅優がベートーヴェンのピアノ協奏曲第3番でソリストを務める。幅広いレパートリーを持つが、ベートーヴェンにはとりわけ力を入れており、独奏に加えて協奏曲や室内楽にも積極的に取り組んできた。今回、どのようなベートーヴェン像を築きあげるか楽しみだ。さらにウィーン交響楽団フルート奏者エルヴィン・克蘭パウアーがソロを務める。ハの管弦楽組曲第2番、チューリッヒ歌劇場管弦団オーボエ奏者のベルンハルト・ハインリヒスとシュトイデによるバツハのオーボエとヴァイオリンのための協奏曲も披露される。それぞれの楽器に見せ場も多い名曲でのソリスト達の饗宴に、ぜひご注目いただきたい。

【管弦楽】トヨタ・マスター・プレイヤーズ、ウィーン
【ヴァイオリン】フォルクハルト・シュトイデ [ピアノ] 小菅 優
【フルート】エルヴィン・克蘭パウアー [オーボエ] ベルンハルト・ハインリヒス
J.S.バッハ：管弦楽組曲 第2番 口短調 BWV1067 (フルート独奏/エルヴィン・克蘭パウアー) /
ベートーヴェン：ピアノ協奏曲 第3番 ハ短調 op.37 (ピアノ独奏/小菅 優) / J.S.バッハ：オーボエと
ヴァイオリンのための協奏曲 二短調 BWV1060 (オーボエ独奏/ベルンハルト・ハインリヒス、
ヴァイオリン独奏/フォルクハルト・シュトイデ) / ベートーヴェン：交響曲 第5番 ハ短調「運命」 op.67
2023.4/10(月) 7:00PM
S 8,500円 A 6,500円 B 5,000円
ハッピーシート(22歳以下、B席のみのお取り扱い) 2,000円(税込)
[お問い合わせ] 大阪アーティスト協会 06-6135-0503
※ザ・シンフォニー チケットセンターでは、ハッピーシートはお電話のみのお取り扱いとなります。
[主催] トヨタ自動車株式会社

発売中

また、誰もが知る名曲中の名曲「運命」も取り上げられる。聞く度に様々な発見をもたらしてくれる奥の深い作品の一つだ。ベートーヴェンはドイツのボン生まれだが、長らくウィーンでも活動した。ウィーンの香り高いトヨタ・マスター・プレイヤーズ、ウィーンによるベートーヴェンの演奏は、この楽聖の名曲に新たな光を当てるものとなる。

(文 伊藤制子)

松田華音 × 福間洸太郎 × 上原彩子

熱狂

ラフマニノフ生誕 150 周年記念

コンチェルト 2023



セルゲイ・ラフマニノフ(1910年頃)

ラフマニノフに恋焦がれる3人の
人気ピアニストによる「熱狂コン
チェルト」

旬のアーティストによる名曲ぞ
ろいのプログラムでザ・シンフォ
ニーホールの真夏を彩る「熱狂コン
チェルト」は、圧倒的な人気を誇る
シリーズだ。

この夏のテーマは、生誕150
年を迎えたラフマニノフのピアノ
協奏曲。7月に開催されるこのシ
リーズでは、ピアノ協奏曲の第2
番から第4番までの3曲をとり上
げる。

ラフマニノフは、モスクワ音楽
院で作曲とピアノを学び、ヴィル
トウ・オース・ピアニストとして欧
米で活躍していた。レコーディン
グにも積極的で、彼の卓越した演
奏テクニックは、残された録音で

聴くことができる。広大な大地を
思わせる重厚な響きやスケールの
大きさ、超絶技巧の連続、そして濃
密なリリシズムは、ラフマニノフ
の作品の魅力だ。

まず、ラフマニノフと言えば、『ピ
アノ協奏曲 第2番』。世界中の多く
の人に愛聴され、ピアニストにとつ
ても憧れのこのコンチェルトを、松
田華音が演奏する。以前のインタ
ビューで、ロシアの作品を弾くのは
言葉を話す表現とよく似ていると
松田は語っていた。6歳から大学院
を修了するまでをロシアで過ごし、
ラフマニノフと同じ言語を話し、同
じ学校で研鑽を積んだ彼女の演奏
に期待が高まる。

『ピアノ協奏曲 第3番』を演奏す
るのは、20歳でアメリカのクリーヴ
ランド国際コンクールで優勝し、
ワールドワイドに活躍する福間洸
太郎。昨秋、彼と会ったときに、「早
くラフマニノフを弾きたい!」と、
ラフマニノフの音楽への思いを
語っていた。第3番のコンチェルト
と言えば、壮大なスケールとともに
細やかな演奏技巧が求められ、難曲
中の難曲としても知られる。クール
な眼差しと溢れんばかりの情熱を
併せ持つ福間は、どんなラフマニノ
フを聴かせてくれるだろうか。

そして、プログラムのトリを飾
るのは、チャイコフスキー国際コン
クルの覇者、上原彩子。若いころ

からロシア作品を得意とする彼女
でも、『ピアノ協奏曲 第4番』を披
露するのは、初めてだという。ラフ
マニノフがロシアを離れて作曲し
た数少ないピアノ音楽のひとつで
もあり、「より音楽的な高みを目指
したい」と述べる。天才・上原の演奏
にも熱い視線が注がれる。

共演するのは、大阪を代表する
オーケストラのひとつ、日本セン
チュリー交響楽団と、ソリスト・
オーケストラ双方からの信頼の厚
い指揮者、現田茂夫。ザ・シンフォ
ニーホールの「熱狂コンチェルト」
が、この夏の日本のホットスポット
になることは間違いない。

(文 道下京子)

[ピアノ] 松田華音、福間洸太郎、上原彩子 [指揮] 現田茂夫
[管弦楽] 日本センチュリー交響楽団

《オール・ラフマニノフ・プログラム》

ピアノ協奏曲 第2番 ハ短調 op.18 (松田華音)
ピアノ協奏曲 第3番 二短調 op.30 (福間洸太郎)
ピアノ協奏曲 第4番 ト短調 op.40 (上原彩子)

2023.7/29(土) 2:00PM

S 7,700円 A 6,600円 B 5,500円(税込)

[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催] ザ・シンフォニーホール

発売中

Tsuyoshi TSUTSUMI

堤 剛 80歳記念
チェロ・リサイタル

80th Anniversary

チェロ 堤 剛

巨匠堤剛が自らの80歳を記念して、
名手河村尚子と共演！

半世紀以上に渡って日本のチェロ界のトップ・ランナーとして活躍する堤剛。2020年にウィーン・フィルと初共演し、チャイコフスキーの「ロ可可の主題による変奏曲」を弾くなど、ますます新境地を切り拓く巨匠が、自らの80歳を記念して、ピアノの河村尚子とリサイタルを開催する。R・シュトラウスのチェロ・ソナタ、ベートーヴェンのチェロ・ソナタ第4番、権代敦彦の「無伴奏チェロのための『Z』」(世界初演)、プロコフィエフのチェロ・ソナタ、マルティヌーの「ロッシニの主題による変奏曲」という、実に多彩なプログラム。無伴奏の新作以外は、すべて、サントリー音楽賞を受賞するなど、近年ますます充実した活動を繰り広げるピアノの名手、河村とのコラボレーションを想定しての選曲である。とりわけ、ベートーヴェンの第4番は堤が恩師ヤーノシュ・シュタルケルから叩き込まれた曲であり、優勝したカザルス国際チェロ・コンクールでも弾いた重要な曲。それを80歳の今、どう解釈して弾くのか興味津々である。堤が自身の到達点というより出発点と語るこのリサイタルは、聴き逃せない。

(文 山田治生)

[チェロ]堤 剛 [ピアノ]河村尚子

ベートーヴェン:チェロ・ソナタ 第4番 八長調 op.102-1

R・シュトラウス:チェロ・ソナタ 八長調 op.6

権代敦彦:無伴奏チェロのための「Z」ゼータ op.186 (2022) ~堤春恵委嘱作品~

プロコフィエフ:チェロ・ソナタ 八長調 op.119

マルティヌー:ロッシニの主題による変奏曲 H.290

2023.4/30(日) 2:00PM

S 7,000円 A 5,000円(税込)

[お問い合わせ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催]ザ・シンフォニーホール

発売中

広島交響楽団

第432回定期演奏会 大阪公演

創立60周年 "繋ぐ"

ヴァイオリン&コンサートマスター
フォルクハルト・シュトイデ

ウィーン・フィルのコンサートマスター、シュトイデが広響をリード！

広島交響楽団の創立60周年を記念するザ・シンフォニーホールでの特別公演。この日は、指揮者を置かず、ウィーン・フィルのコンサートマスターであり広響ミュージック・パートナーであるフォルクハルト・シュトイデがコンサートマスターとして、直接、楽団員たちをリードする。とりわけ、ヴァイオリン独奏が交響曲を思わせる分厚い響きのオーケストラと対峙するブラームスのヴァイオリン協奏曲で、シュトイデが、独奏を務めながら、オーケストラをも率いるのは、驚きである。指揮者を置かずには、独奏者にとっても、オーケストラにとっても至難であろうが、両者の信頼関係によって素晴らしい一体感が生み出されるに違いない。シュトイデは、ライプツィヒ生まれで、ベルリンとウィーンで学んだだけに、正統的なブラームス演奏が聴けるだろう。後半のベートーヴェンの交響曲第7番では、ウィーン・フィルのコンサートマスターとしてベートーヴェンの交響曲を知り尽くしたシュトイデならではの解釈や広響との化学反応が満喫できよう。

(文 山田治生)

[ヴァイオリン&コンサートマスター]フォルクハルト・シュトイデ

[管弦楽]広島交響楽団

ブラームス(生誕190年):ヴァイオリン協奏曲 二長調 op.77

ベートーヴェン:交響曲 第7番 一長調 op.92

2023.6/11(日) 2:00PM

5,000円(税込)

[お問い合わせ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催]公益社団法人 広島交響楽協会 / ザ・シンフォニーホール

発売中

TheSymphonyHall × 関西4オーケストラ 初夏の注目公演

大阪交響楽団 第126回名曲コンサート



管弦楽 大阪交響楽団



指揮 高橋直史

フランス音楽の神髄に迫る
詩や小説や典礼文——マラルメの『牧神の午後』、ツルゲーネフの『勝ち誇る愛の歌』、チェラーノのトマス『ディエス・イレ（怒りの日）』——と関連した音楽作品による文学的な薫香のプログラミング。舞台を華やぐ魅力的なヴァイオリニスト・高木凜々子の独奏（ショーンソンの詩曲）も必聴！ドイッ物の演奏で定評のある首席客演指揮者・高橋直史が腕によりをかける、音楽の絶品フレンチ・コースを是非ご堪能ください。



ヴァイオリン 高木凜々子

[指揮]高橋直史（首席客演指揮者）
[ヴァイオリン]高木凜々子

ドビュッシー：牧神の午後への前奏曲
ショーンソン：詩曲 op.25
サン＝サーンス：交響曲 第3番 ハ短調 op.78「オルガン付き」

2023.5/21(日) [昼の部] 1:30PM [夜の部] 5:00PM
S 3,500円 A 3,000円(税込)

[お問い合わせ]大阪交響楽団 072-226-5522
[主催]公益社団法人 大阪交響楽団

発売中

日本センチュリー交響楽団 ハイドンマラソンHM.31



管弦楽 日本センチュリー交響楽団



指揮 飯森範親

[指揮]飯森範親 [ヴァイオリン]辻 彩奈

ハイドン：交響曲 第25番 ハ長調 Hob. I:25
バッハ：ヴァイオリン協奏曲 第1番 イ短調 BWV1041
ハイドン：交響曲 第32番 ハ長調 Hob. I:32
ハイドン：交響曲 第49番 ヘ短調 Hob. I:49「受難」

2023.5/18(木) 7:00PM

A 5,000円 B 4,000円(税込)
[お問い合わせ]センチュリー・チケットサービス 06-6848-3311

[主催]公益財団法人 日本センチュリー交響楽団
[協力]ザ・シンフォニーホール

発売中



ヴァイオリン 辻 彩奈

ハイドンマラソン新シリーズスタート！
飯森範親マエストロと日本センチュリー交響楽団が挑む一大プロジェクト！ハイドンマラソン。
今回は疾風怒濤期に書かれた第49番「受難」とその少し前に書かれた作品をお届けいたします。そして一緒に楽しみたい一曲は、バッハのヴァイオリン協奏曲 第1番。ソリストに名実ともに若手ヴァイオリニストを代表する一人として引く手あまたの辻 彩奈を迎えます。
爽やかな5月の一夜、至福のひとときをお楽しみください。

<名曲シリーズ>大阪フィル×ザ・シンフォニーホール ソワレ・シンフォニー Vol.21



管弦楽 大阪フィルハーモニー交響楽団



指揮 大植英次

匠巻の大植ワールドをぜひ！
今年で10年目を迎える名曲シリーズ。新たなスタートとなる第21回は、桂冠指揮者・大植英次が『未完成』『革命』交響曲二曲で堂々と登場！毎回その常人離れたエネルギーと豊富なアイデアでわれわれを魅了しつづけるマエストロ、今回はどのようなステージになるのか目を離せません。定番の作品にマエストロ大植が新たな命を吹き込む瞬間をお聴き逃しなく！

[指揮]大植英次
[管弦楽]大阪フィルハーモニー交響楽団

シューベルト：交響曲 第7番 口短調 D759 「未完成」
ショスタコーヴィチ：交響曲 第5番 二短調 op.47 「革命」

2023.5/31(水) 7:00PM
A 5,100円 B 3,100円(税込)

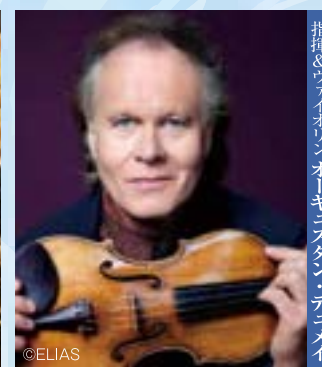
[お問い合わせ]大阪フィル・チケットセンター 06-6656-4890
[主催] (社) 大阪フィルハーモニー協会／ザ・シンフォニーホール

発売中

関西フィルハーモニー管弦楽団 第337回定期演奏会



管弦楽 関西フィルハーモニー管弦楽団



指揮&ヴァイオリン オーギュスタン・デュメイ

[指揮&ヴァイオリン]オーギュスタン・デュメイ
[ヴィオラ]マニュエル・ヴィオック＝ジュード
[管弦楽]関西フィルハーモニー管弦楽団

モーツァルト：ヴァイオリンとヴィオラのための協奏交響曲 変ホ長調 K.364
ブラームス：交響曲第4番 ホ短調 op.98

2023.5/19(金) 7:00PM

S 6,500円 A 5,000円 B 3,500円 C 2,500円(税込)

[お問い合わせ]関西フィルハーモニー管弦楽団 06-6115-9911
[主催]公益社団法人 関西フィルハーモニー管弦楽団

発売中

浪漫と情熱が滾る憂愁のブラームス
音楽監督オーギュスタン・デュメイがソリストとしても登壇する関西フィル5月定期公演。
まずはマニエル・ヴィオック＝ジュード（ヴィオラ）をゲストに迎え、デュメイとのデュオが光るモーツァルト「協奏交響曲」をたっぷりとお楽しみいただきます。デュメイとジュードの至高の音色を存分にご堪能くださいませ。そして後半はロマン美に満ちた憂愁の名作「ブラームス」交響曲 第4番をお贈りいたします。どうぞご期待ください。

山形交響楽団

山響さくらんぼ
コンサート

指揮・ホルン ラデク・バボラーク



管弦楽 山形交響楽団

天才ホルン奏者バボラークと彼が愛する温泉と
美食の国のオーケストラの饗宴!!

チェコ出身のホルン奏者ラデク・バボラークは、そのまばゆい技巧と豊かな音楽性で世界屈指の奏者として名高い。そして親日家でもある。彼が最初に来日したのが山形での世界ホルン・フェスティバルだったことから、同地の山形交響楽団とは以来、良好な関係を結んできた。6月23日のザ・シンフォニーホールでの公演では両者のタッグが実現。チェコの名作であるスメタナの《わが祖国》やモーツァルトとドニゼッティのホルン協奏曲ほかによるプログラムが組まれた。さらにバボラークの名演とオーケストラの醍醐味に酔いしれることのできるコンサートだ。山形は名湯の銀山温泉をはじめ、温泉と美食で知られる東北屈指の観光地でもある。演奏会の来場者には恒例の山形県東根市産サクランボの全員プレゼントという特典もあるから嬉しい。さらに以前より好評を博してきた山形物産展も開催予定だという。聴覚、視覚、そして味覚など五感をフルに働かせて、ザ・シンフォニーホールで楽しい一日を過ごしませんか?

(文 伊藤制子)

[指揮・ホルン]ラデク・バボラーク [管弦楽]山形交響楽団

スメタナ・連作交響詩「わが祖国」第6曲「ブラニーク」/モーツァルト・ホルン協奏曲 第3番 変ホ長調 K.447 /ドニゼッティ・ホルン協奏曲 へ長調 /ドヴォルザーク・交響曲 第8番 長調 op.88

2023.6/23(金) 7:00PM

S 5,100円 A 4,100円 B 3,100円(税込)

[お問い合わせ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

山響チケットサービス 023-616-6607

[主催]公益社団法人 山形交響楽協会 / ザ・シンフォニーホール

映像配信
のご案内



山形交響楽団公式
YouTube
チャンネル

発売中

光と映像で楽しむ/
0歳児からの
オーケストラ
だいすけお兄さんと音楽のピクニックへ

Vol.
18



ゲスト 横山だいすけ

子供の耳と心を魅了する
人気シリーズが今年も開催!!

心豊かな人間を育てる上で、幼児期に受ける大変よいとされる音楽。それを名門・大阪交響楽団のゴージャスなサウンドで味わえるこの、0歳から楽しめるシリーズは、情操教育の最高峰の一角と言ってよいだろう。

今回は、昨年9月の前回公演に初登場して大好評を博した、だいすけお兄さんの愛称でおなじみ、人気歌手の横山だいすけを再びゲストに迎える。NHK「おかあさんといっしょ」の11代目うたのおにいさんを長らく務めた彼は、卓越した歌唱力に加え、全身を巧みに使った表現力も秀逸。今回はプロジェクトシンマッピングの煌びやかな演出も行われるので、中西圭三「ぼよん行進曲」などのリズムカルなナンバーを会場一体で歌ったり踊ったりして、子供も大人も大いに楽しめるに違いない。

また今回は、注目の若手・松元宏康が指揮を務め、ロッシニ「ウィリアム・テル」序曲や、エルガー「威風堂々」第1番などの本格的かつ聴きやすい名曲もお届けするので、クラシック入門にもおすすめです。

そんな当公演は、

日曜の昼夜2回開

催。ぜひご来場を!!

(文 渡辺謙太郎)

[ゲスト]横山だいすけ [指揮]松元宏康 [管弦楽]大阪交響楽団

ロッシニ「ウィリアム・テル」より 序曲「スイス軍の行進」★/アンダーソン・フィドル・ファドル/中西圭三「ぼよん行進曲」/エルガー「威風堂々」第1番より★ (ほか)
★=プロジェクトシンマッピングつき

2023.5/7(日) 午前の部 11:00AM/午後の部 2:00PM

全席指定 4,000円(税込)/大人・子供均一料金

※乳幼児のお子様も(お膝の上でも)必ず座席券をご購入ください。

[お問い合わせ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

大阪交響楽団チケットセンター 072-226-5522

[主催]公益社団法人 大阪交響楽団 / ザ・シンフォニーホール

発売中